

編集後記

EBM (evidence-based medicine) の重要性が認識されてしばらくたちますが、すべての領域でEBMを実践することは容易ではありません。それには診療学が進歩し一つの疾患に対するアプローチがより詳細となり、以前と比較すると医療者の業務内容が複雑になっていることが要因となっています。多くの場合、最先端の情報は研究の中に、最新の情報は学会発表、文献にあると思っています。他者の発表、論文から情報を得られる方も多くおられますが、小生がそうであるように自らの学術活動なくして、最新または標準的な臨床業務は時に困難となります。本誌の目的の一つは、日常臨床をEBMに基づいた標準的診療レベルに保つことにあると考えられます。昨年度までは旧校舎解体など郷愁漂っていた新病棟建設も、今年度になってから基礎の工事が完了し徐々に地上階が姿を現してきました。2018年の完成に向け、臨床においても多様な情報を整理し、新しい知見を参考に標準的な診療を行いたいと思います。

武田 洋平

編集委員

山口 由美	西土井英昭	山根 哲実
竹内 薫	岸 隆広	武田 洋平
縄田 隆浩	廣岩 厚美	野澤 好恵
米田 栄子	川瀬 和代	山村 章二
篠原由香里		

鳥取赤十字病院医学雑誌 (vol. 23)

2014年12月12日 印刷
2014年12月17日 発行

編集 鳥取赤十字病院
医学雑誌編集委員会
〒680-8517 鳥取市尚徳町117
☎ 0857-24-8111

発行 福島 明

印刷所 今井印刷株式会社
〒683-0103 米子市富益町8
☎ 0859-28-5551